

ポイ捨てされた

あきカン

散歩や車で出かけたときに、ポイ捨てされたあきカンがあちこちに見られます。

あきカンだけでなく、パンや弁当の包装材、飲料のあきカンやあきビンが入っています。

私たちの生活水準はごみの山から読みとることができ、現在の水準はかなり高いといわれています。しかし、その半面で私たちは、生活水準が高くなればなるほどごみの量を増やしていきます。

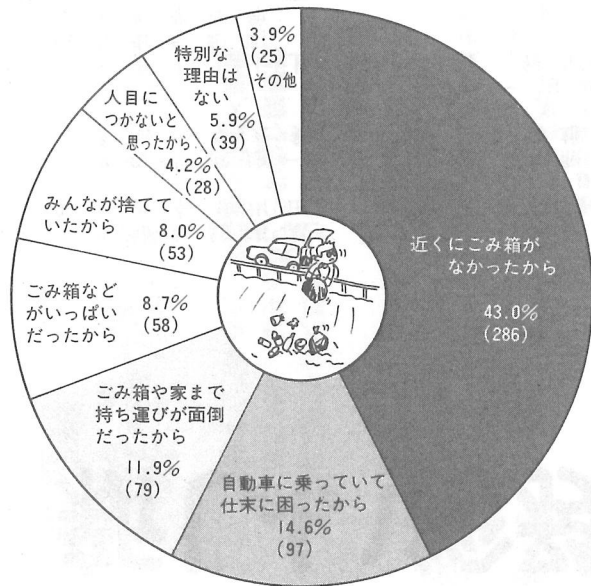
食べたり、飲んだりしたあとのごみだけではなく、職場を含め、私たちの暮らしのまわりには、ごみははらんでいます。

ごみは山ほどあります。このごみの山をどうすればいいかが問題です。

コンビニエンスストアなどのビニール袋も目につきません。交差点の近くや草が生い茂っているところは、特に多いです。

ちよつとのどがかわいた、お腹がすいた、自動販売機や24時間営業のコンビニエンスストアが普及し、いろいろなものが簡単に手に入るようになりました。でも、飲食のあとのごみはどうしています

で豊かな自然を!!



か？
観光地や行楽施設へ行くとき「ごみの持ち帰り運動」が盛んに行われています。自分のごみをその場に放置することの良し悪しは、誰にでもわかれ、家まで持って帰る



ポイ捨てられたゴミ袋は数多し